

新宿野村ビル

生き物は問いかける
第3回「ホテルを通して環境を考える」展 2009
ホテルに導かれる未来の光

特別シンポジウム

毎回好評を博しております「ホテルを通して環境を考える」展。3回目を迎える今回は、「生き物とのつながりを振り返れば未来が見える」というテーマでシンポジウムを開催いたします。自然と人とが優しく調和する社会の実現に向け、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：2009年6月4日(木) 15:00～17:30

場所：新宿野村ビル 48F コンファレンスルーム B&C

1 基調講演

生き物とのつながりを振り返れば未来が見える

講師：涌井 史郎



造国家。桐蔭横浜大学・医用工学部・特任教授。中部大学応用生物学部・教授。東京農業大学客員教授。
ランドマークアーキテクトとして人と自然の調和を目指した空間計画に取り組む傍ら、環境省・生物多様性国民広報・参画委員会・座長など政府や地方公共団体の委員を務める。
黄綬褒章・日本造国学会賞などの受賞歴。

2 シンポジウム

座長：涌井 史郎

パネリスト：



石田 秀輝 東北大学大学院環境科学研究科教授・工学博士。2004年(株)INAXを経て現職、ものづくりのパラダイムシフトに向けて国内外で多くの発信を続けている。特に、2004年からは、自然のすごさを賢く活かすあたらしいものづくり『ネイチャー・テクノロジー』を提唱、また、環境戦略・政策を横断的に実践できる社会人の人材育成や、子供たちの環境教育にも積極的に取り組んでいる。地球村研究室代表、ネイチャーテック研究会代表、ものづくり生命文明機構理事、アースウォッチ・ジャパン理事ほか
近著：自然に学ぶ粋なテクノロジー (Dojin選書 化学同人)



今森 光彦 1954年、滋賀県生まれ。写真家。琵琶湖をのぞむ田園風景の中にアトリエを構え活動する。自然と人との関わりを「里山」という空間概念で追いつける。一方、学生の頃から世界各国の訪問を重ね、熱帯雨林から砂漠まで、生物と人が生きるあらゆる自然を見聞し取材している。
写真集：『里山物語』(新潮社)、『湖辺』(世界文化社)、『世界昆虫記』(福音館書店)、写真文集：『萌木の国』、『藍い宇宙』(ともに世界文化社)、『里山を歩こう』(岩波書店)など多くの著書がある。
第20回木村伊兵衛写真賞、第48回毎日出版文化賞、第28回土門拳賞など受賞多数。



大桃 美代子 ニュース番組をはじめ、料理、クイズ、バラエティ、情報と幅広い分野で司会として活躍。04年10月に起こった「中越地震」を新潟県魚沼市の実家に帰省中に被災。現地からの情報を伝えた。05年11月に「魚沼特使」に任命され復興のために活動している。日本災害復興学会 名誉会員。雑穀アドバイザー、野菜ソムリエなどの資格を取得するなど食育や農業に関心を持ち、07年より新潟県魚沼市にて古代米(黒米)作りに挑戦中。
近著：日本一おいしいお米の食べ方(中経出版)ほか



高橋 幸 野村不動産株式会社 代表取締役兼副社長執行役員。
野村証券株式会社取締役から野村不動産株式会社常務取締役を経て現職に至る。法人営業の分野で活躍する一方、一昨年度より本企画の実現に尽力する。

(主催)野村不動産株式会社 (後援)NPO日本ビオトープ協会